

環 生 第 102-6 号  
令和 3 年 12 月 28 日

株式会社 ブルーキャピタルマネジメント  
代表取締役 原田 秀雄 様

静岡県くらし・環境部環境局生活環境課長

(仮称)函南太陽光発電事業に係る環境影響評価方法書の第 4 章  
修正版について

令和 3 年 9 月 29 日付けで送付されました標記の修正版について、県環境影響評価  
審査会委員に意見を伺ったところ、下記の意見があったため、準備書に反映してく  
ださい。

また、本事業に対しては、方法書に関する知事意見でもお伝えしたとおり、地域  
住民等への丁寧な説明が必要と考えますので、その旨御配慮をお願いします。

記

項目	内容
土地の安定性	・盛土斜面の安定性を評価できるよう、盛土箇所でのボーリ ング調査を検討すること。
河川の変化	・1 降雨のみでは事業が流量に及ぼす影響を評価することは できないと考えるので、調査手法を検討すること。
動 物	・昆虫類調査の「任意採集」は春季、秋季に加え、夏季の調 査も検討すること。 ・「自主調査」の意味を明確にすること。
植 物	・春夏秋季の調査を行った上で、貴重種が確認できた場合に は、翌年その種の花期に再調査を検討すること。 ・「自主調査」の意味を明確にすること。
景 観	・構造的盆地の典型的な景観に及ぼす影響を評価するため、 丹那盆地エリアを圍繞景観の調査範囲に加えること。 ・熱函道路からの景観に及ぼす影響は、シーケンス景観調 査による手法を検討すること。

担 当 環境影響評価班

電話番号 054-221-2268

FAX 番号 054-221-3665

E-mail seikan@pref.shizuoka.lg.jp